



ユーザー・ガイド Version 1.0



目次

安全上の重要事項	3
はじめに	5
開梱とセットアップ	5
ブロックダイヤグラム	9
使用例	10
各部の名称	13
Easy Nav LCD ディスプレイ	17
チャンネルメニュー	27
設定	
アプリ	31
アクセサリー	31
仕様	32

安全記号の説明



感電の危険性があります。カバーを開けないでください。



安全にご使用いただくためにマニュアルの指示に従ってください。

安全上の重要事項

- 1. 本マニュアルに記載されているすべての警告と指示に従ってください。
- 2. 水の近くや湿度の高い環境で使用しないでください。
- 3. 水または液体の中にいれないでください。
- 4. 直射日光の下で使用しないでください。表面が変色する場合があります。
- 5. 表面が滑りやすいステージ上に設置しないでください。スピーカーの振動で本体が動き、 ステージ下に落下することがあります。
- 6. 85dB以上の音圧で音を出し続けると、演奏者、音楽関係者、観衆の聴力に影響を与える 場合があります。
- 本体に直接エアゾールスプレー、クリーナー、消毒剤や殺虫剤を使用しないでください。 クリーニングのときは乾いた布で拭いてください。
- 8. 本体の通気口をふさがないように設置してください。
- 9. 熱源(ラジエーター、ストーブ、アンプ)などの近くに設置しないでください。
- 10. 安全のため、必ず付属の電源コードをご使用ください。
- 11. 電源コードは踏まれたり、挟まれる事の無いようにしてください。
- 12. 電源コードを抜く際は、コードを引っ張らず、プラグ部分を持って引き抜くようにして ください。
- 13. 製品受領時に外部に損傷(電源コード等を含む)が無いか確認してください。もし 製品にダメージが有った場合、ただちに販売店へ連絡してください。修理を行わずに 使用を続けると更なる深刻なダメージを被る恐れが有ります。その状況で使用を続けた 場合は、保証期間内でも保証外の対応となる場合が有ります。
- 14. アクセサリーやパーツは、メーカーが定めた物をご使用ください。
- 15. 長期間使用しない場合や、雷が発生した時はプラグを抜いてください。

Doc.#: SHD1329-A

- 16. 電源周りのトラブルや液体をこぼしてしまった時や、高い湿度の環境に置かれた時は、 販売店に相談してください。そのまま使用を続けたり、無理に自分で修理を試みないで ください。
- 17. 地域の法律に沿ってご使用ください。
- 18. 設置について疑問が生じた場合は、販売店に相談してください。

はじめに

この度はJBL PRX ONE をご購入いただき、誠にありがとうございます。PRX ONE は、音響的 に最適化されたコラムアレイに 7 チャンネル・デジタルミキサー、多彩なプロフェッショナル DSP、クラス最高の豊富な入出力、Bluetooth 機能、JBL Pro Connect ユニバーサル・アプリコント ロールを搭載したオールインワン・パワード・コラム PA スピーカーです。本製品の性能を 最大限に発揮させ、末永くお使いいただくため、ご使用になる前に、この取扱説明書を必 ずお読みください。

開梱とセットアップ

同梱物

- PRX ONE ウーファーキャビネットx1
- PRX ONE $\mathcal{I} = \mathcal{T} \mathcal{T} \mathcal{V} \mathcal{I} \times 2$
- PRX ONE J = P P V I
- 電源ケーブル (3m)
- クイックスタートガイドx1



開梱

6

セットアップ

- リニアアレイ B をウーファーキャビネットに 挿し込みます。
- リニアアレイAをリニアアレイBに挿し込み ます。
- 付属の電源ケーブルを背面パネルの電源コネ クターに挿し込みます。
- 電源プラグをコンセントに挿し込みます。 **電源投入**
- 電源ボタンを短く押すと電源が ON になり LCD ディスプレイに初期画面が表示されます。
- 電源ボタンを 3 秒以上押し続けると電源が OFF になります。





PA の基礎

ミキサーは、入力チャンネルの信号を取り込みミックスして出力する機能を持つとてもシン プルなデバイスです。ユーザーは入力チャンネルの信号をミックスしてトーンを調整した り、各チャンネルのリバーブレベルをセットしたりすることができます。ミックスされた信 号はアンプに送られ、最後にスピーカーから出力されます。PRX ONE はミキサー、アンプ、 スピーカーから構成される PA システムです。

PRX ONE 概要

パワードミキサーセクションは、ミキサーとパワーアンプから構成されます。マイク、楽器、 外部音源(MP3、CD、Bluetooth オーディオなど)を接続することができます。





使用例

複数の楽器をミキサーに接続



2台をモニターとして使用





各部の名称

A. 電源ボタン

電源を ON/OFF します。OFF の状態でボタンを押して離すと電源が ON になります。 スリープ状態のときはボタンを 2 秒以上長押しします。

B. LCD ディスプレイ

システムの状態表示と、メニュー画面から高度な機能のパラメーター設定を行うこと ができます。LCD のリフレッシュレートは 4Hz となり、値をリアルタイムに表示する メーターや速い画面切り替えが必要な機能には適していません。

C. Mix/パラメーター

チャンネルモードでは選択したチャンネルのパラメーターを調整します。 Mix モードでは、各チャンネルのゲインを調整します。

D. ステータス LED

チャンネルモードでは、選択したチャンネルの LED が点灯します。Mix モードでは、 選択した機能の LED が点灯します。

E. リミット LED

アンプがクリップ状態になると点灯します。

F. Mix/チャンネルモード選択

Mixモードとチャンネルモードを切り替えます。

- G. マスターボリューム/メニュー選択
- 右に回すとメニューを下にスクロール、左に回すと上にスクロールします。
- ノブを押してメニューを選択します。
- ホーム画面でノブを右に回すとマスターボリュームレベルが上がり、左に回すと 下がります。
- ホーム画面でノブを左に回すとマスターボリュームレベルが下がり、左に回すと 上がります。
- H. Back

前のメニュー画面に戻ります。

- I. USB ポート USB2.0 Type A ポートです。 デバイスの充電やソフトウェアアップデートに使用します。
- J. 電源コネクター 電源コードを挿し込みます。
- K. XLR フォン・コンボ入力 x 4
 アナログオーディオ信号入力端子です。
 マイク、またはラインレベルの機器を接続します。

Doc.#: SHD1329-A

© 2021 Sound House Inc.

L. Hi-Z バランスフォン入力 x 2

エレキギターなどハイインピーダンスの楽器やデバイスを接続します。

- M. 3.5mm ステレオミニ・アンバランス入力 音楽プレーヤーなどを接続します。
- N. XLR パススルー出力 内部オーディオ信号を外部機器に送ります。複数の入力に信号がある場合、ミックス信号 として送られます。メニュー画面からパススルーに関する設定を行うことができます。 サブウーファーの設定もこのメニューから行うことができます。

I/O



CH 1-2

ファンタム電源適用チャンネル

コンデンサーマイクを使用するとき、XLR マイク入力端子にファンタム電源+48V を供給 する必要があります。メニューからファンタム電源を ON にすると、CH 1、CH2 両方に +48V が供給されます。使用しないときは必ず OFF にしてください。

PRX ONE とコンデンサーマイクに影響がないようにするために、コンデンサーマイクを 繋ぐ前にファンタム電源が OFF になっているか確認してください。コンデンサーマイクを 接続してから、+48V を ON にします。 ファンタム電源を ON/OFF する手順

ファンタム電源は LCD ディスプレイ、またはアプリから ON にすることができます。

- a CH1、またはCH2のノブを押してチャンネルメニューを開きます。
- b Phantom Power メニューを選択し、Master/Menu ノブを押します。
 Master/Menu ノブを右方向に回してファンタム電源を ON にし、Master/Menu ノブを押して確定します。BACK ボタンを押すとキャンセルできます。
 ポップノイズを防ぐため、ON のときシステムはファンタム電源を一瞬 OFF にして から ON にします。
- c ノブを左方向に回すとファンタム電源を OFF にすることができます。

CH3-4

マイクプリアンプへの入力チャンネルです。ファンタム電源は接続できません。

CH5-6

Hi-Z 入力チャンネルです。ピックアップを持つ楽器の信号をロスすることなく入力する ことができます。

CH7

Bluetooth/AUX のミックス信号を入力するチャンネルです。

チャンネルノブ

- チャンネルノブを1度押すと、チャンネルモードになります。
- 2秒以上長押しすると、チャンネルをミュートします。チャンネル LED はゆっくりと 赤く点滅します。
- MASTER/MENU ノブを1度押すと、マスターメニューが開きます。続けて MASTER/MENUノブを回して各種設定を行うことができます。
- ホーム画面で+ボタンを押すとスピーカーをミュートできます。

Mix モード

- MODE SELECT ボタンを押します。
 Mix モードになり、全ての LED が点灯します。
- 2. 各チャンネルノブを回して各チャンネルのゲインを調整します。

Mic/line 自動切り替え

入力が-100dB~0dB なら、チャンネルは LINE モードになります。 1dB~56dB なら、MIC モードになります。

Easy Nav LCD ディスプレイ

マスターメニュー

- 1. MASTER/MENU ノブを押すと、マスターメニューが開きます。
- Ducking by Soundcraft 誰かが話し始めるとバックミュージック(CH7、Bluetooth/AUX)のレベルを下げるのに 使用される一種の連動型コンプレッサーです。ダッキングするマイクの選択、感度、 バックミュージックのレベルを選択できます。
 - a Ducking を選択し MASTER/MENU ノブを押します。
 - b ノブを右側に回すとダッキング機能が有効になり、左側に回すと無効になります。
 - c Channel Sensor を選択し、MASTER/MENU ノブを押してダッキングを起動する マイクを選択します。ダッキング用にどのマイク入力でも選択することができます。 ノブを右側に回すとそのチャンネルのダッキングが有効になり、左側に回すと 無効になります。
 - d Sensitivity Parameters は、ダッキングを起動するマイクのボリュームレベルを 選択するパラメーターです。ボリュームレベルを高く設定すると、大きい声のとき ダッキングが起動し、低く設定すると、小さな声でもダッキングが起動します。
 - Sensitivity Parameters を選択し、MASTER/MENU ノブを押します。
 ダッキングを起動するマイクチャンネルを選択し、MASTER/MENU ノブを 押します。パラメーターを設定し、MASTER/MENU ノブを押して保存しま す。キャンセルするには BACK ボタンを押します
 - ii. ダッキング後の CH7 (Bluetooth/AUX チャンネル)のボリュームを設定します。
 RANGE を選択し、MASTER/MENU ノブを押します。
 パラメーターを調整し、MASTER/MENU ノブを押して保存します。
 キャンセルするには BACK ボタンを押します。
 - iii. Release Time は、選択したマイクチャンネルの声が検出されなくなったとき、 CH7 のボリュームを元に戻すまでの時間 (msec) を設定するパラメーターです。 RELEASE TIME を選択し、MASTER/MENU ノブを押します。 パラメーターを調整します。 MASTER/MENU ノブを押して保存します。 キャンセルするには BACK ボタンを押します。

- 3. FX Processing では、ユーザーが Lexicon エフェクトエンジンのエフェクトパラメーターに アクセスすることができます。
 - a Lexicon エフェクトエンジンにより、リバーブ、ディレイ、サブシンセなどの エフェクトを使えるようになります。
 - i. マスターメニューから FX Processing を選択し、MASTER/MENU ノブを 押します。
 - ii. エフェクトを選択し、エフェクトのON/OFFやパラメーターの設定を行います。
 - b Lexicon Parameters-Reverb
 - i. On/Off

Off に設定すると、Lexicon-Reverb は無効になります。Lexicon-Reverb を 使用中に、Off にすると、使用している音がなくなるまでリバーブは効きます。

- ii. Reset は Lexicon-Reverb を Off にして、設定を Room Medium 初期設定値に 変更します。
- iii. Presets は一般的に使用されるリバーブ設定をユーザーに提供し、素早く選択 できるようにします。プリセットには部屋やホールの種類によってシュミ レーションされたリバーブの名前がついています。
 ユーザーは Custom を選択し、プリセット設定を変更することができます。
 また、最初に特定のプリセットを選択し、聴いてからパラメーターを変更する こともできます。このとき、プリセットは Custom に自動的に入り、さらに 調整を続けることができます。

プリセットの例

Custom Room Small Room Medium Room Medium Bright Room Large Hall Medium Hall Medium Bright Hall Large

- iv. Size と Pre-Delay Time はそれぞれ、部屋の大きさと演奏者に対して観客が感じる 距離感を定義し、これらの組み合わせによりリバーブの効果を決めます。
 - Size :部屋の大きさによって short、medium、long から設定します。
 - Pre-delay: 演奏者から観客までの距離と一番近い壁からの反射音の遅れの比を設定します。
 - 短い Pre-delay 時間:演奏者からの距離が遠く感じます。
 - 長い Pre-delay 時間:演奏者からの距離が近く感じます。
- v. パラメーター「High Freqency」は、高い周波数の反射がリバーブにどれくらい含 まれるかを定義します。
 - 値を大きくするとリバーブは金属やガラス面が多い部屋の反射に近い状態 になります。
 - 値を小さくするとソフトな反射、あるいは屋外にいるような感じになります。
- vi. パラメーター「Low Frequency」は、リバーブに含まれる低域の量を定義します。
 - 値を大きくすると、固い壁で囲まれた室内にいるような、低域反射を生成 します。
 - 値を小さくすると、屋外にいるような低域反射の少ないリバーブになります。
- Wix パラメーターのレベル:メインミックスに送られるウェット(リバーブの 掛かった信号)の量を設定します。
 - 値を大きくすると、リバーブが際立ちます。
 - 値を小さくすると、繊細なリバーブになります。
- viii. パラメーターを調整するには、MASTER/MENUノブを右回り、左回りに回し、 最後に押すと変更が保存されます。キャンセルするには BACK ボタンを押します。
- c Delay

FX プロセッシング・ディレイは音楽性を重視したディレイです。一般的にロックや バラードのボーカル、ギターなどに使用され、演奏中の曲の速度(BPM)に合わせて 設定されます。ビート毎に何回ディレイがリターンするか、どのくらい長くリターンを 保持するか、ディレイを何回繰り返すかなどを設定します。

i. On/Off

Offに設定すると、ディレイ入力は無効になり、ディレイがなくなるまで現在の 信号を継続することができます。ディレイを直ちに終了し、ディレイレベルを Mix フェーダーレベルまで落とします。

ii. Reset

ディレイ設定を初期状態に戻します。

iii. Presets

よく使う用途に合わせて素早くディレイを設定するためのプリセットです。 プリセットの名前は始めてのユーザーでも分かりやすくするために一般的に よく使われている音楽シーンに合わせて付けられています。また、最初に特定 のプリセットを選択し、聴いてからパラメーターを変更することもできます。 このとき、プリセットは Custom に自動的に入り、さらに調整を続けること ができます。

プリセットの例

Custom

Simple Quarters Simple Eights Simple Triples Simple 1:1 Staggered Echo Bounce wall Fast Spring

iv. Beat Per Minute

これから演奏する曲、または演奏中の曲のテンポに合わせてスピーカーが 自動的にディレイ時間を計算します。

v. Subdivision

4分音符、付点8分音符、4分音符+付点8分音符などからディレイの間隔を セットします。

vi. Delay Length

ディレイの長さ(ms)を設定します。小さくすると、速い間隔のディレイが ビートに合わせてフェードアウトします。

vii. Feedback

ディレイプロセッサーにフィードバックをかける信号の量です。ディレイ サウンドに深みを与えます。

viii. Low Pass Filter

ディレイリターン信号の中で高い周波数レベルを減少させるためのフィルター です。非常に強く輝きのある音に高い周波数のとげとげしい音が含まれている 場合、この設定でフィルターすることができます。

ix. Level to Mix

FXリターンフェーダーに送られるディレイ信号の量を設定します。

d Chorus

コーラスはロックやバラードのボーカルとアコースティックギターの曲に合わせた ハーモニクスを追加するように設計されています。ハーモニクスの音色をわずか に変更し、音楽ソースとしてより輝きと透明感のある信号を作ります。

i. On/Off

Offに設定すると、コーラス入力は無効になり、コーラスがなくなるまで現在の 信号を継続することができます。コーラスを直ちに終了し、コーラスレベルを Mix フェーダーレベルまで落とします。

- ii. Reset はコーラスの設定を初期設定値に変更します。
- iii. Presets

よく使う用途に合わせて素早くコーラスを設定するためのプリセットです。 プリセットの名前は始めてのユーザーでも分かりやすくするために一般的に よく使われている音楽シーンに合わせて付けられています。また、最初に特定 のプリセットを選択し、聴いてからパラメーターを変更することもできます。 このとき、プリセットは Custom に自動的に入り、さらに調整を続けること ができます。

Custom Slow Light Slow Deep Fast Light Fast Deep Smooth Vibrato High Pass Medium Narrow

iv. Rate

コーラスエフェクトの速度を調整します。

v. Depth

コーラスが続く時間の長さを調整します。

- vi. Width ソース周波数より上の領域においてコーラスの広がりを調整します。
- vii. Level to Mix 最終ミックスの前、RX リターンフェーダーに送られるコーラスの量を調整します。

e SubSynth

SubSynth は、現在再生されている音楽より1オクターブ下の低音を生成します。 低音を生成するには、一般的な EQ バンドを使用した低域領域における低音の増加 に加え、SubSynth プロセッシングを使用した極低音エフェクトを音楽に加える 方法があります。

- On/Off SubSynth プロセッサーに対する入力を On/Off します。
- ii. Level to Mix
 SubSynth プロセッサーの処理結果を FX リターンフェーダーに送る量を調整
 します。FX リターンフェーダーに送られた信号はマスターミックスフェーダー
 に送られます。
- 4. dbx DriveRack Output

Harman dbx のブランドで製造されたシグナルプロセッサーシリーズです。このラック マウント対応プロッセーサーに搭載されている DriveRack 機能は、1 台、または複数 のスピーカーに送る前の最終処理やクロスオーバーを細かくコントロールすることが できます。また、PRX ONE に搭載されている DriveRack 機能は、JBL スピーカーに 内蔵されているスピーカー出力とパススルー出力の組み合わせを最適化するように設計 されています。

- AFS (Automatic Feedback Suppression) とは、音声のフィードバックがミックス 入力に戻ってくる前に、出力に最大 3dB のトータルゲインを追加することができる 処理の組み合わせです。dbx AFS では、出力マスターEQ の前に、オートセンシングと、 非常にタイトな幅のパラメトリック EQ を組み合わせて使用しています。ロック したフィルターは、イベント前に「固定された」フィルターとして設定できます。 さらに、ライブ AFS フィルターをオンにすることで、ステージ上でハンドヘルド マイクの位置や方向が変わることによる変化など、イベント中にフィードバック を起こすであろう周波数を常時追い続けることができます。
 - ハウリングを防ぐためには、AFS システムと組み合わせてステージをセット アップすることが推奨されます。マイクは、ステージ上で以下の位置基準に従 うと、ハウリングの可能性が低くなります。
 - マイクは常にスピーカーフロントパネルより後ろ側に設置する。
 - 左右のスピーカーから最低 2m 以上離して設置する。
- b AFS by dbx

AFS プロセッサーを On/Off します。

c Live AFS

live AFS フィルターを On/Off します。ステージ上を動き回るマイクからのフィード

バックを捕らえるのに最も感度が高いフィルターです。また、簡単に使えるため、 AFS プロセッシングを使い始めるのにこのフィルターがお勧めです。

d Reset Live Filters

全てのライブフィルターをリセットします。フィードバックを防止する周波数を 決めるプロセスを初期化します。

e Learn Fixed

自動検知を開始して固定 AFC フィルターをセットアップします。ショーが始まる 前にマイクを接続してスピーカーを ON にし、Learn Fixed を有効にします。 フィードバックを起こすため、マイクの前で大声を出します。発生しなかった場合、 メインボリュームをゆっくり上げて再び大声を出し、フィードバックが起きるよう 試みます。AFS がフィードバック周波数を検知したら、システムは固定フィルターを 自動的に適用します。ハンドマイクを持ってステージを歩き回り、大声を出しても フィードバックが起きないことを確認します。

- i. Learn Fixed を使用している間は Live AFS を Off にします。
- ii. 全ての固定フィルター周波数が割り当てられた場合、Learn AFS は自動的に Off になり、固定フィルターはロックされます。
- iii. 周波数割り当てが完了できない場合、Learn AFS を手動で Off して、初めか らやり直してください。
- iv. Learn Fixed セットアップが終了後、Live AFS を On にしてください。。
- f Remember Fixed on Reboot

スピーカーは同じ設定のまま長時間使用することが多いです。その間に電源を 複数回 On/Off することもあります。Remember Fixed on Reboot をを On にする と、電源を Off してから再び On にしたとき、前の設定を呼び出して使用すること ができます。AFS 固定フィルターセットアップが終了した後に電源が落ちること こともあり、この設定は通常 On にしておきます。スピーカーを動かす場合、この 設定を Off にして、セットアップを行ってください。

5. Master EQ

マスターEQ はオーディオ信号をアンプとスピーカーに供給する前にメインミックス で調整するフィルターパッケージです。一般的なスピーチや音楽に合わせて簡単に設 定できるプリセットが含まれています。また、各プリセットを「カスタム」プリセット に読み込んで、出力パラメトリック EQ の詳細をユーザーが調整することも可能です。 個々のバンドレベル、周波数、バンド幅(Q) などです。

a Master EQ

Master EQ プロセッサーの現在の設定を有効にするか、無効にするかを決めます。

b Reset

Master EQ の設定を工場出荷時に戻します。

 $c \quad \ \ \, Presets \ 8x$

MASTER/MENU ノブを回して Master EQ プリセットを表示選択できるように します。

- i. メニューから Presets 8x を選択し、MASTER/MENU ノブを押します。
- ii. MASTER/MENU ノブを回して設定可能なプリセットを表示します。
- iii. MASTER/MENU ノブを押して選択したプリセットをロードします。
- iv. 「カスタマー」プリセットをロードし、MASTER/MENU ノブをダブル クリックすると、Master EQ ページを開くことができます。表示された グラフから MASTER/MENU ノブを回し、パラメトリック EQ 周波数を選択 して MASTER/MENU ノブを押しことにより、ゲイン (±dB)、周波数、 バンド幅 (Q) を調整することができます。
 選択したプリセットは、設定を変更し「カスタム」プリセットとして保存する ことができます。保存する前に設定が上書きされる確認のダイアログが表示 されます。
- 6. Output Limiter

シグナルチェーンの最後にある Master EQ の後、マスターミックスにかける リミッターです。

a Limiter

リミッターはミックスのダイナミックレンジの最も大きい部分をカットします。 非常に大きな音量のソースを再生する際の保護や、マスターミックスの最も大き なダイナミクスを抑制するために使用することができます。

b Reset

Output limiter の設定を工場出荷時に戻します。

c Presets \lceil

ー般的なクリエイティブな音楽制作やトラブルシューティングのためにリミッタ ーの設定を呼び出すことができます。

- ユーザーが下位3つの設定のいずれかを選択して編集した場合、プリセット は自動的に下位3つの設定をLimiter "Custom" プリセットにロードし、ユ ーザーがさらに編集できるようにします。
- d Threshold

スレッショルド・レベルを設定して、アンプとスピーカーへの最大ミックス・レベ ルを制限することができます。そのレベルを超えるすべてのダイナミックレンジ は、スレッショルドの最大設定値までに制限されます。

e OverEasy

「OverEasy」とは「OverEasy 」を有効にすると、信号がスレッショルドレベル に達する前の移行がスムーズになり、ソフトなリミッティング結果が得られます。 「OverEasy」をオフにすると、よりハードなロックや DJ スタイルの音楽プログ ラムに適しています。

f Makeup Gain

限定されたミックスをリミッターの前のレベルまで引き上げるために使用します。 大音量のミックスにリミッター「Makeup Gain」を使用すると、希望のミックス ゲインレベルを超えてしまう可能性があります。この設定は、熟練したオーディオ 専門家のみが使用することをお勧めします。リミッターを調整するときは、少しづ つ値を変えるようにします。

7. Pass Thru (パススルー)、ディレイ

Pass Thru 出力(XLR)を設定することで、ミックスを追加のスピーカーに送ることができます。このセクションでは、Pass Thru 出力から接続するスピーカーの種類と、そのスピーカーや観客との位置関係を調整するプリセットと設定が用意されています。

a Pass Thru On/Off

Pass Thru 出力を On/Off します。

b Presets

スピーカーの組み合わせを3タイプから選択することができます。

c Full Range

フルレンジスピーカーを追加するとき選択します。出力は本体と同じフルレンジ ミックスになります。

d Sub

低域を分離してパススルーにサブウーファー用信号を出力します。内蔵のアンプ、 スピーカーに対して 80Hz より上の信号をパスする HPF (ハイパスフィルター) を通して信号を供給し、パススルーには 80Hz より下の信号を出力します。

e Custom

ユーザーが手動で低域の設定を行うことができます。

f HPF on this Speaker

内蔵したアンプ、スピーカーに対して、選択した周波数より下の信号をカットして 出力します。

g LPF on Pass Thru Out

パススルーに対して、選択した周波数より下の信号を出力します。

- 8. ディレイ
 - a 観客によって異なる距離に設置された複数のスピーカーにディレイをかけます。
 - b 例
 - i. フルレンジスピーカーがステージ上にあり、サブウーファーがステージの前 に設置してあるとき。パススルーに出力される信号に少しディレイをかけて サブウーファーの近くにいる観衆に届く音のディレイを補正します。
 - アレイバー・エクステンダー・オプションを使用すると、指向角度による観衆
 への影響(一番近くにいる観衆と遠くにいる観衆の違い)を補正することがで
 きます。
 - iii. 観客全体の半分の位置にフルレンジスピーカーを置き、パススルーからフルレンジ信号を送ることにより、観客全体に均一に音を届けることができます。
 この場合、ディレイを正確に補正する必要があります。
 - c 時間調整の基礎
 - i. 距離の違いを補正するには、観客から最も遠いスピーカーを決定し、それに合わせて、同じ信号が接続された他のスピーカーを遅らせて観客から最も遠いスピーカーに時間を合わせます。
 - ii. 音は平均的な湿度と室温のとき、346m/秒の速度で空気中を伝わります。各ス ピーカーから観客までの距離を測り、客席から最も遠いスピーカーに、遅れが ないように出力します。さらに次のスピーカーに対して最も遠いスピーカー からの距離を測り、346m毎に1msのディレイをかけるようにします。観客 とスピーカーの距離を測る方法もありますが、全ての観客に対して距離を測 るのは現実的ではありません。
 - Delay Pass Thru Out
 パススルー出力に対してディレイをかけます。
 - iv. Delay This Speaker 本スピーカーの内蔵ミキサー入力信号に対してディレイをかけます。
 - v. Delay Extended Tweeters

ウーファーとアレイバーの出力間にディレイをかけます。

チャンネルメニュー

- チャンネルメニューは設定したいチャンネルのロータリーノブを押してアクセスします。選択したチャンネル番号の LED が点灯し、LCD ディスプレイのトップラインに チャンネル番号が表示されます。
 - a 選択したチャンネルをミュートします。
 - i. ミュートの間、SSM LED(赤)が暗くなります。
 - ii. チャンネルノブを2秒間長押ししてミュートすることもできます。
 - b チャンネル1と2に対してファンタム電源+48Vを供給することができます。
 - c PRX ONE はチャンネル 7 を除く各チャンネルに対して dbx ダイナミック・プロ セッシングを利用することができます。
 - i. Gate

チャンネル1~6に対してゲートの設定を行います。ゲート・スレッショルド・ レベルより下の信号を減衰させ、入力チャンネルのフロアーノイズを下げる 働きをします。ステージマイクやギター、ベースアンプなどのフロアーノイズ を下げるときに使用します。

ゲートを有効にするには、CH ノブを押してチェンネルストリップモードに入り、チャンネルメニューを開きます。

GATE を選択するには、MASTER/MENU ノブを回して GATE を選択し、 MASTER/MENU ノブを押します。

「Gate On/Off」

ゲートを On/Off します。Off にすると、ゲートはバイパスされます。

「Reset」

全てのゲート設定を工場出荷時に戻します。

[Presets]

よく使用するノイズゲート設定を素早く選択します。

フルゲート:スレッショルドレベル以下の全ての信号をシャットオフするこ とができます。

ステップゲート:スレッショルドレベル以下になったら、設定した値までレベ ルを下げることができます。 プリセットを選択すると、プリセットで設定された値と共に、下位2つの設定 値が自動的にロードされます。

下位2つの設定を編集すると、値が画面に表示され、Custom プリセットとして保存することができます。

「Gate Threshold」

ゲート・スレッショルドレベルを設定します。チャンネルの入力信号レベルが この値より下がると信号レベルを-100%まで下げます。

「Gate Depth」

チャンネルの入力信号レベルがこの値より下がると、信号レベルを設定した レベルまで下げます。-10dBに設定すると、-10dBだけレベルを下げます。

- Attack
- Hold
- Release

ii. Compressor

入力チャンネルのコンプレッサーを設定します。コンプレッサーはスレッシ ョルドレベルより上の信号レベルを一定の比率を掛けて下げます。

COMPRESSOR を選択するには MASTER/MENU ノブを回して COMPRESSORを選択し、MASTER/MENUノブを押します。

「Compressor On/Off」

入力チャンネルのコンプレッサーを On/Off します。(Off のときはコンプレッ サーをバイパスします)

「Reset」

チャンネルのコンプレッサー設定を全て工場出荷時に戻します。

「Presets」

よく使用するコンプレッサーの設定を素早く呼び出すことができます。

プリセットを選択すると、プリセットで設定された値と共に、下位7つの設定 値が自動的にロードされます。

下位7つの設定を編集すると、値が画面に表示され、Custom プリセットとして保存することができます。

「Threshold」

コンプレッサーがかかる信号レベルを設定します。スレッショルドレベルより上の信号は「Ratio」に設定された比率を掛けたレベルまでコンプレッションされます。

「OverEasy」は信号にコンプレションがスムーズにかかるように、スレッシ ョルド前の信号を緩やかにします。ロックバラードやパネルディスカッショ ンなどに応用することができます。ハードロックや DJ スタイルの音楽のとき はこの設定を Off にします。

「Makeup Gain」

コンプレションにより減衰した信号レベルを補うためゲインを増やし、トー タルミックスにフィットさせたり際立たせたりします。

注意

非常に大きい信号に対して「Makeup Gain」を使用すると、チャネルゲイン のレベルを超えてしまう可能性があります。この設定はミキサーの操作に精 通したサウンドエンジニアの方にお願いしてください。

「Attack」

信号がスレッショルドレベルに達したとき、コンプレションをかけ始める時 間を設定します。

「Hold」

Attack が終了した後、コンプレッションをかけ続ける時間を設定します。

「Release」

信号がスレッショルドレベルを下回ったときコンプレションを止めるまでの 時間

d Input EQ

各チャンネルの固定、またはパラメトリック EQ の設定です。

- i. よく使用する EQ の設定を簡単に呼び出すことができます。
- ii. 低域をカットするハイパスフィルター、Bass/Middle/Treble 定番のコントロールなど、各チャンネルのノブ、または LED ディスプレイから調整することができます。また、個別にゲイン、周波数、Q 幅が設定ができるパラメトリック EQ によりフィルターの設定が可能です。
- iii. 「Channel #」 On/Off

入力チャンネル EQ プロセッサーを On/Off します。

iv. 「Reset」

入力チャンネル EQ の設定を工場出荷時の値に戻します。

v. $\lceil \text{Preset } 8x \rfloor$

ユーザー設定画面を開きます。

MASTER/MENU ノブを回して使用可能な入力チャンネル EQ プリセットを 表示します。

MASTER/MENU ノブを押して選択したプリセットを呼び出します。 MASTER/MENU ノブをダブルクリックして入力 EQ 編集ページを開きます。 MASTER/MENU ノブを回してページ内の HPF、Bass/Middle/Treble、 パラメトリック EQ 番号を選択し、ノブを押して値をロードします。 パラメトリック EQ バンドでは、MASTER/MENU ノブを回してゲイン(\pm dB)、 フィルター周波数、Q を選択して編集します。

e FXセンド

各エフェクトに対して FX センドを選択します。全ての FX センドはポスト フェーダーレベルですから、チャンネルフェーダーを動かすと FX センドの値が 変わります。

- i. MASTER/MENU ノブを回して FX Send を選択し、ノブを押します。
- ii. 変更したい FX センドを選択し、ノブを押します。
 時計回りに回すと FX センドの値を増やします。
 反時計回りに回すと減らします。
 MASTER/MENU ノブを押して変更を保存します。
 BACK を押して変更をキャンセルします。

設定

- 「BT Audio Pairing」
 JBL Pro Connect アプリを使用して Bluetooth ペアリングを行います。ペアリングが 成功するか、30 秒経過するとペアリングを停止します。
- 2. BT ペアリングを開始するとポップアップウィンドウが開きます。ペアリングが成功す るとウィンドウが閉じます。
- 3. 「LCD Contrast」 LCD ディスプレイのコントラストを 0~100%の範囲で調整できます。
- 「Firmware Version」
 現在のファームウェアのバージョンを表示します
- 「Factory Reset」
 Bluetooth ペアリングを含む全ての設定を工場出荷時に戻します。

アプリ

JBL Pro Connect アプリ

Bluetooth Low Energy コントロールアプリで、PRX ONE をリモートでコントロール することができます。アプリは iOS と Android から無料でダウンロードできます。 本機のファームウェアを最新の状態にして使用することをお勧めします

アクセサリー

壁固定ブラケットキット PRX ONE を壁に固定するためのブラケット・キットです。



仕様

システム	パワードコラム PA スピーカー
ウーファー	12 インチ x1
ツイーター	2.5 インチ ×12
最大 SPL	130dB
周波数特性 -10dB	35-20kHz
周波数特性 -3dB	40-20kHz
指向角度(水平)	130°
指向角度(垂直)	30°
定格出力	2000W(ピーク)、1000W(RMS)
電源	300W 100-230V AC 50-60Hz
入力インピーダンス	4kΩ(バランス XLR フォン・コンボ)
	2M Ω(バランス Hi-Z フォン)
	10k Ω(3.5mm シングルエンド)
クロスオーバー周波数	260Hz
I/O	XLR フォン・コンボx4
	Hi-Z フォンx2
	3.5mm ステレオミニ ×1
	フォンx1(パススルー)
キャビネット	ポリプロピレン
質量	25.7kg
 寸法	2042mm (H) x 446mm (D) x 375mm (W)



※この取扱説明書に記載されている商品名、会社名などは、その会社の商標登録です。 また、掲載されている図、写真などの著作権はその会社にあります。